

第七回 神奈川県俳句連盟通信句会入賞作品一覽表

一人一賞とする

入賞	点	句番	作	品	住所	氏名
1位	17	170	寝転べば乗りませんかと春の雲	茅ヶ崎	佐々木 紅花	
2位	16	253	添寝する団扇もいつか眠りをり	茅ヶ崎	奥村 ゑこ	
3位	15	180	母を乗せ父漕ぎ渡る天の川	茅ヶ崎	塚島 豊光	
4位	15	521	門火焚くいつかひとりとなるふたり	小田原	池田 忠山	
5位	15	680	捨てるもの捨てゝ無口となる冬木	海老名	大澤 秀子	
6位	14	26	薄紅に村が膨らむ滝桜	横浜	鈴木 智子	
7位	14	78	大仏の膝の日溜り寒雀	横浜	渡辺 長汀	
8位	13	47	全身で歌ふ手話の子夏つばめ	茅ヶ崎	清水 吞舟	
9位	13	371	黙禱にマイクのひらふ蝉しぐれ	横浜	竹下 貞夫	
10位	13	747	国境のなき大空や鳥渡る	茅ヶ崎	松林 游々子	
11位	11	199	千仞へ夏を吐き出す黒部ダム	海老名	濱家 一志	
12位	11	358	座布団で運ばれ稚児の昼寝かな	横浜	沼宮内 薫	
13位	11	638	まだ誰も踏まぬ風紋涼新た	さいたま	野村 宝生	
14位	11	640	りんご挽ぐ信濃連山引き寄せて	平塚	片山 千江子	
15位	11	726	天空は見得切る舞台役者風	茅ヶ崎	加藤 久枝	
16位	10	42	緑陰や木洩れ日といふ落し物	秦野	加藤 三眠	
17位	10	55	着古した自分を脱いで衣替	横浜	宮原 久美子	
18位	10	313	竹百幹大空掃いて四方の春	相模原	檜島 喜代子	
19位	10	409	数式の美しき黒板風光る	厚木	池田 直子	
20位	9	36	幼児を夢ごとはこぶ良夜かな	茅ヶ崎	岸本 純子	
21位	9	74	草笛の少女音符のやうに来る	厚木	北村 純一	
22位	9	428	ごめんねと処置するナース小鳥来る	茅ヶ崎	中野 しおん	
23位	9	500	月涼しシルクロードの古跡群	茅ヶ崎	藤田 真知子	
24位	9	653	湯どうふや角とり合ふて添ふ二人	綾瀬	西郷 節子	
25位	9	738	水中花風の甘さを知らぬまま	中井	尾崎 竹詩	
26位	8	60	百疊へ響く説法息白し	茅ヶ崎	伊藤 あつ子	
27位	8	108	マンホールの凶柄もゆがむ極暑かな	平塚	柏崎 国雄	
28位	8	469	子の名前忘れし母や手毬唄	茅ヶ崎	日高 朝代	
29位	8	612	平和とは有り難きもの大昼寝	平塚	石黒 和風	
30位	8	615	轉につと立ち止まる白き杖	茅ヶ崎	吉住 夕香	
31位	8	623	秋うらら胸ポケットのフリーパス	横浜	伊藤 恒子	
32位	8	643	炎昼や無声映画のような街	平塚	上原 華子	
12	12	139	友の名の残るボトルや夜の秋	茅ヶ崎	清水 吞舟	
10	10	205	五十年無口な人とゐて涼し	茅ヶ崎	清水 吞舟	
8	8	352	たんぽぽや土手は園児の滑り台	海老名	濱家 一志	
8	8	674	悩みごとすとんと流す心太	横浜	沼宮内 薫	
8	8	699	国訛りつぶやき父母の墓洗ふ	海老名	大澤 秀子	
			晩秋をひとつかみして山歩く	海老名	大澤 秀子	

※通信句会の入選は一人一句として左記の句は入選を辞退致します。